

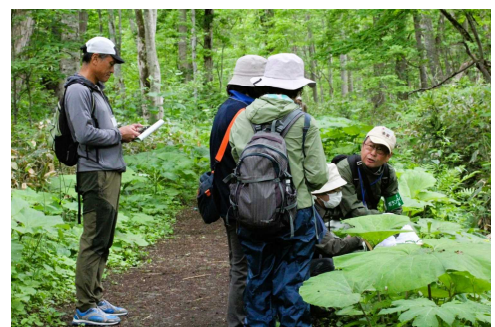
令和7年度「自然観察会」～森の新緑観察会～（共催）の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	森の新緑観察会（自然ふれあい交流館前庭～エゾユズリハコース～志文別線～大沢コース／周回）	
開催日時	2025（令和7）年6月5日（木）9：50～12：30	
天 候	曇り（微風） 日最高気温17.1℃ 日最低気温10.9℃ （アメダス江別）	
参加状況	一般参加者：36人、8班、ボラレン：12人（サポート4）、下見会12人	
観察記録 主なもの	草 本	エゾトリカブト、オオアマドコロ、オオウバユリ、オオハナウド、オククルマムグラ、オニシモツケ、クルマバソウ、クマイザサ、コケイラン、コウライテンナンショウ、コンロンソウ、サイハイラン、サッポロスゲ、サラシナショウマ、ズダヤクシュ、チシマアザミ、ツクバネソウ、ツボスミレ、トケンラン、トリアシショウマ、バイケイソウ、ヒメヘビイチゴ、フタリシズカ、ホウチャクソウ、マイヅルソウ、ミズヒキ、ミミコウモリ、ヤブハギ、ヤマブキショウマ、ユキザサ、ヨブスマソウ、レイヨウショウマ
	木 本	エゾニワトコ、エゾユズリハ、オオカメノキ、オオバボダイジュ、オヒョウ、カツラ、キタコブシ、クリ、コシアブラ、コナラ、コマユミ、シウリザクラ、シナノキ、シラカンバ、ツタウルシ、ツルアジサイ、ナナカマド、ノリウツギ、ハイイヌガヤ、ハルニレ、ハリギリ、ハンノキ、ホオノキ、ミズキ、ミツバウツギ、ミヤマザクラ、ヤマグワ、ヤマウルシ、
	シ ダ	オシダ、コウヤワラビ、コタニワタリ、ジュウモンジシダ、ゼンマイ、ミゾシダ、ヤマドリゼンマイ、
	野 鳥	アオジ、アカゲラ、ウグイス、キジバト、キビタキ、クロツグミ、コゲラ、センダイムシクイ、ツツドリ、ヒヨドリ、ヤブサメ ※鳴き声も含まれます。
	その他昆虫等	アオジョウカイ、エゾハルゼミ、エゾマイマイ、オカモノアライガイ、オトシブミ、サッポロマイマイ、ジョウカイボン、スジグロシロチョウ、ハナウドゾウムシ、＊初見？の虫こぶ「クリメコブズイフシ（クリタマバチ）」
感想など	・昨年に続き、周回約3kmコースでの開催でしたが、時間が30分延長になり、各班5人ずつ、予定5分前から順次ご案内し、概ね予定時間で回り切りました。 ・途中で休憩&給水タイムの確保。マダニ・ツタウルシ・スズメバチ・ハネカクシなどの注意も。 ・常緑の草木類の新葉が優しい色合いで葉を広げる様子、新緑の色味の違い、濃淡を観察できた。 ・クリの虫こぶ「クリメコブズイフシ（中国原産のクリタマバチ、1941年岡山県で発見）」の観察は、おそらく今回が初めてと思われる（ベテラン会員のコメント）。 ・『汗をかき駆けつけたせい、中盤は、肌寒かったー。』との声も聞かれた。 ・相変わらず、踏み込みなどの痕跡も多く、反面教材として「公園利用のマナー」喚起も行った。	



上：「開会式」自然ふれあい交流館前庭



右上下：観察会風景



エゾハルゼミ、オトシブミ、ハネカクシ



（記録：飯田康弘、仲西正彰、事務局）